

平成18年度 学校経営計画 (最終評価資料)

学校評価委員会

<学校教育目標>

社会の変化に主体的に対応し、豊かな心をもち、心身共にたくましく生きる健全な人間を育成する。

<目指す学校像(ビジョン)>

～ 美しい戸坂中・輝く戸坂中 ～ 知・徳・体の育成を図り、生徒・家庭・地域から信頼される学校  
 確かな学力の定着・向上に努める学校 安全できれいな学校  
 豊かな心の育成に努める学校 生徒・家庭・地域から信頼される学校

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準						
				努力指標		成果指標				
確かな学力	わかる授業の創造 指導方法や評価方法の工夫改善	授業規律の確立	教員が早めに教室へ行く。 生徒の手による「ヘルプ点検」により意識を高める。			チャイムを意識して席に着いた生徒	80%以上 60%以上 3 40%以上 2 40%未満 1	ハル 生徒 点 検		
			授業開始・終了のあいさつをきちんとさせる。 (礼・ことば)			あいさつをきちんとした生徒	80%以上 60%以上 3 40%以上 2 40%未満 1		ア 授 業 ケ イ ト	
			人の話(教員、生徒)は静かに聞き、それに対して、きちんとした言葉遣いで発言する中で、活気のある授業をつくる。			人の話は静かに聞き、きちんとした言葉遣いで発言した生徒	80%以上 4 60%以上 40%以上 2 40%未満 1			ア 学 校 生 活 ケ イ ト
		「基礎学力(読み・書き・聞き話す力)」の育成	「基礎学力(主に聞き話す力)」をつけるための各教科の取り組みをまとめる。	教科で「基礎学力」をつけるための取り組みをまとめた	8教科以上 6教科以上 3 4教科以上 2 4教科未満 1				教 科 会	
			全生徒による朝読書の実施に向け、本を持ってこない生徒へ個別指導を行う。			よく本を読んでいると感じる生徒	80%以上 60%以上 3 40%以上 2 40%未満 1	ア 学 校 生 活 ケ イ ト		
			「基礎・基本」の定着	各教科で単元ごとに観点別評価規程Bを明確にする。	教科で単元ごとに観点別評価規程Bを明確にした	8教科以上 6教科以上 3 4教科以上 2 4教科未満 1				
		各教科で「基礎・基本」定着のための取り組みを行う。		教科で「基礎・基本」定着のための取り組みをまとめた	8教科以上 3 6教科以上 3 4教科以上 2 4教科未満 1				教 科 会	
		教科と連携をとり、家庭学習が定着するような取り組みを行う。				家庭学習をしている生徒	90%以上 4 80%以上 70%未満 2 70%未満 1	実 施 生 活 調 査		
		日々の授業の中で、目標と評価の一体化を図る。			通知表はわかりやすいと感じる生徒・保護者	80%以上 4 60%以上 3 40%以上 40%未満 1	ア 保 護 者 ケ イ ト			
		豊かな人間性	基本的な生活習慣の育成と生徒指導の充実 感動ある体験活動と道徳教育の充実	サポートシステムの充実	不登校や問題行動の情報の共有化。行動連携する場面の設定や個々の問題に対して小学校との協力などの連携強化。	小学校との年間の連携回数		60回以上 50回以上 3 40回以上 2 30回以上 1		ア 学 校 生 活 ケ イ ト
					不登校生徒が、学習を取り戻していけるシステム(カリキュラム)づくり。学習支援を専門に担当する教員をあてる。(可能な限り時間割に組み込む)進路情報も提供。	ふれあいひろばへの年間の支援時間	120時間 100時間 3 80時間 2 60時間 1		点 年 度 結 果 集	
					教育相談週間の設定。生活実態調査の実施。	教育相談・生活実態調査の実施回数	3回以上 2回 3 1回 2 0回 1			
スクールカウンセラーの利用の拡大。スクールカウンセラーとの連携強化。	スクールカウンセラーとの協議実施回数				20回以上 15回以上 3 10回以上 2 10回未満 1		点 年 度 結 果 集			
規範意識の定着	さまざまな生活の場面であいさつ・礼儀について指導する。					よくあいさつをしていると感じる生徒		80%以上 60%以上 3 40%以上 2 40%未満 1	ア 学 校 生 活 ケ イ ト	
	身だしなみ・マナーについての指導を行う。月ごとに項目をしぼっての指導体制をとる。					容儀検査で違反のない生徒	90%以上 4 80%以上 70%以上 2 70%未満 1	点 年 度 結 果 集		
道徳教育の充実	生徒の実態に応じた道徳教材の開発と選定を行う。			実施1ヶ月前までに研究担当者会で教材の内容を検討した	80%以上 60%以上 3 40%以上 2 40%未満 1				ア 学 校 生 活 ケ イ ト	
	IT授業の効果的活用を考えた指導案の作成。			T1.T2の役割を工夫した授業展開に心がけた	80%以上 60%以上 3 40%以上 2 40%未満 1			ア 学 校 生 活 ケ イ ト		
体験活動の充実	各行事において、「生徒の活動の場」を意識した原案を作成し、実施する。					各行事に積極的に参加したと感じる生徒	80%以上 60%以上 3 40%以上 2 40%未満 1		ア 学 校 生 活 ケ イ ト	
	ボランティア活動等情報コーナーの設置。ボランティア推進体制の確立。(文化図書委員会)					ボランティア活動への参加生徒	40%以上 4 30%以上 3 20%以上 20%未満 1	ア 学 校 生 活 ケ イ ト		
	地域他団体の行事の手伝い。ふれあい推進活動との連携。「びっかびっか戸坂」への参加。					地域行事への参加生徒	40%以上 30%以上 3 20%以上 2 20%未満 1			ア 学 校 生 活 ケ イ ト

教育環境の整備	安全で整った教育環境作りの推進	安全な学校	改修などできる範囲のことは各教職員で行う。 月1回の定期点検を完全実施。		月1回の定期点検の完全実施と修繕率	90%以上 80%以上 70%以上 70%未満	3 2 1	安全点検	
			外部の関係機関との連携のもと、教職員の訓練も通して対応のレベルアップを図る。 集合時間の短縮。		避難訓練での集合時間	5.5分以内 6分以内 6.5分以内 7分以内	4 2 2 1		避難訓練
			校外での不審者対応についての訓練の実施。	不審者対応についての研修	3回以上 2回 1回 0回	4 2 2 1			
		美しい学校	清掃用具入れの整備。(用具数・担当者明示) 清掃用具数のチェック用紙の活用。 用具の使い方の指導。		清掃用具の確認による整備率	90%以上 80%以上 70%以上 70%未満	3 2 2 1	ア ン ケ ー ト	
			全員が掃除場所にいるか、全校体制でチェックを行う。		積極的に清掃に取り組んでいると感じる生徒	80%以上 60%以上 40%以上 40%未満	3 2 2 1		
			全校の掲示活動を推進する体制の構築(文化図書委員会)。年間計画に基づいた定期的な更新。		定期的な更新	4回以上 3回以上 2回以上 2回未満	3 2 2 1		
			年間を通しての300個以上のブランター活動をこのまま実施。 美化委員会計画の下、学年活動として実施。 3月と9月にチェック。		ブランターの数	325個以上 300個以上 250個以上 250個未満	4 3 2 1		
			清掃ボランティア活動の推進。		清掃ボランティアへの参加生徒	40%以上 30%以上 20%以上 20%未満	4 2 2 1		
信頼される学校	地域に開かれたさわやかな学校づくり	顧客が欲しい情報の発信	学校協力者会議評価部会アンケートの結果公表と改善策の検討。	評価部会アンケートの結果公表と改善策の提示回数	3回以上 2回 1回 0回	4 2 2 1	ア ン ケ ー ト		
			学校だよりを月1回以上発行する。	学校だより発行回数	13回以上 12回 10回以上 10回未満	3 3 2 1			
			ホームページ月1回以上の更新を継続する。	ホームページ更新回数	13回以上 12回 10回以上 10回未満	3 3 2 1			
	マネージメントサイクルによる校務運営体制の確立	保護者・地域との連携活動の推進	魅力ある懇談会のあり方の工夫。		懇談会の内容に満足できたと感じる保護者	80%以上 60%以上 40%以上 40%未満	3 2 2 1	ア ン ケ ー ト	
			入学ガイドの作成。 参加者アンケートの実施。		体験入学に満足したと感じる児童・保護者	80%以上 60%以上 40%以上 40%未満	3 3 2 1		
			バトロール的なものだけでなく、共に活動する形態を考える。		教職員の参加延べ人数	50人以上 45人以上 40人以上 40人未満	3 2 2 1		
	現場力の向上	内容を精選して研修会を10回以上実施する。	研修会の実施回数	11回以上 10回 5回以上 5回未満	3 3 2 1	ア ン ケ ー ト			
		月1回、服務に関する研修(具体的事例をもとにした研修)を実施する。	服務に関する研修の実施回数	13回以上 12回 10回以上 10回未満	3 3 2 1				
		授業力の向上に向け、教科・学年・全校を対象にした校内研究授業を行う。	校内研究授業の実施回数	3回以上 2回 1回 0回	3 3 2 1				